

安全なくらしを守る人びとの仕事

～1日警察になって学園の安心・安全を守ろう！～

「安全なくらしを守る人びとの仕事」（日本文教出版）

本単元で育成する「21世紀型スキル」

◎創造力

1 単元設定の理由

【単元について】

本単元は小学校学習指導要領社会第3学年の目標及び内容(3)ア(ア)(イ)及びイ(ア)を受けて設定したものである。

本内容は、安心・安全なくらしを守るために警察などの関係機関が普段から事故や事件の防止に努めるとともに、緊急時には関係機関と連携していることや地域の人も協力をして、安心・安全な町づくりを行っていることを理解させることができる。また、学習したことや児童自身の経験をもとに学園の安心・安全を守るために自分たちにできることを話し合い、実行していくことで、本校が目指す「21世紀型スキル」の創造力を育成するのに適した単元といえる。

【児童の実態】3年1組16名(男子6名、女子10名)

①本単元にかかわる児童の実態

今年度から社会科が始まった子どもたちにとって、3つ目の大単元である。「社会科の学習が好きである」と回答した児童は75%であり、4人に1人は好きではないと分かった。理由として、様々な社会的事象を自分のこととして捉え、考えたり表現したりすることが苦手な子が多いことがわかった。

②学校図書館活用にかかわる児童の実態

「興味・関心があることや学習に関することを本や資料を活用して調べるようにしている」と回答した児童は93.7%であり、学校図書館の活用が身近になってきている。

【指導に当たって】

- ・単元の導入において、身近な火災や事故、全国的なニュースなど児童の知っている事柄から取り上げ、学習に対する意欲をもたせる。
- ・単元全体を通して、教科書の地域の資料と併せて、竹原市の資料や写真を提示し、自分たちのこととして考えられるようにする。
- ・安心・安全なくらしを守る人々の仕事に関する書籍を置いたり、実際に見学に行く機会を設けたりして、児童が自らの問いを解決していけるような環境を整える。
- ・単元の最後に、「学園の安心・安全を守るために1日警察になろう！」とゴールを設定し、学習したことをもとに、安心・安全を守るためには何をしたらよいか、自分たちにできることを考えさせ、全員で協力して実行する力の育成を図る。

【単元の目標】

- 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安心・安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解するとともに、仕事内容等について見学したり、調べたりしたことをまとめることができる。

【知識及び技能】(3)ア(ア)(イ)

- 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考えたとうえで、安心・安全を守るために自分たちにできることを考え、表現することができる。

【思考力、判断力、表現力等】(3)イ

- 地域の安心・安全を守る働きについて、課題解決に向けて意欲的に追究することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

2 単元構想図（指導と評価の計画）

単元を貫く問い

安心・安全なくらしとはどんなくらしだろう？

用意する情報・資料

安心・安全なくらしを守る人々に関する書籍

竹原市の火災や事故に関する資料

火災や事故に関する新聞

第1時 身のまわりにはどのような危険があるのか考え、安心・安全なくらしを守るためにはどのような仕事や取組があるのか問いをもつとともに、問いに対する予想や情報収集に向けての計画を立てる。【評価：思①・主①（発言・ノート）】

第2時 竹原市で起きている火災や事故について、資料をもとに考える。【評価：思①（発言・ノート）】

第8時 なぜ事故や事件が減っているのか資料をもとに考える。【評価：思①（発言・ノート）】

第9時 交通事故が起きた時に警察署の人はどのような取組をしているのか考える。【評価：思①（発言・ノート）】

第3時 消防隊員の仕事について調べる。【評価：知技①（ノート）】

第10時 警察官の仕事について調べる。【評価：知技①（ノート）】

第4・5時 消防署へ行き、消防署や消防隊員の秘密を探る。【評価：知技①・主①（発言・ノート）】

第11・12時 交番へ行き、地域の安心・安全を守るための秘密を探る。【評価：知技①・主①（発言・ノート）】

第6時 なぜ8分以内に火災現場へ行き、放水が始められるのか情報をもとに考える。【評価：思①（発言・ノート）】

第7時 学園や地域では火災に備えてどのような工夫があるのか調べる。【評価：知技①（発言・ノート）】

第13時 地域の安心・安全を守っている人や団体について調べる。【評価：知技①（発言・ノート）】

第14時（本時）～16時 学園の安心・安全を守るために自分たちにできることを考え、実行する。【評価：思②・主②（発言・ノート）】

学校図書館

図書資料やパンフレットで情報を収集

見学・インタビュー

インターネットで情報を収集

ICT

理解を深めるためにWeb上の動画を視聴

評価規準

【知識・技能】

①安心・安全なくらしを守る人々の仕事について、消防署や交番を見学・調査したり図書資料で調べたりして、必要な情報を集め、図表や文などにまとめ、地域の安心・安全を守るために相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解している。

【思考・判断・表現】

①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。
②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして、学習したことを基に地域や学園の安心・安全を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

①地域や学園の安心・安全なくらしを守る働きについて予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②学習したことを基に地域や学園の安心・安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。

3 本時の学習（本時 14/16 時）

(1) 本時の目標

○自分たちが 1 日警察として、学園の安心・安全を守るためにできることを、学習してきたことをもとに考えることができる。

(2) 準備物

○図書資料（事前に活用した本を教室へ置いておく）

(3) 学習の展開

学 習 活 動	指導上の留意事項（○）及び「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て（◆）	評価規準（評価方法）及び学校図書館・ICT活用のポイント
<p>1 警察の仕事にはどんなものがあり、それらは何のために行われているのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の見回りをするためにパトロールをしている。 ・悪いことをしている人を捕まえる。 ・お年寄りの家に行って、困っていることはないか聞いて回る。 ・交通事故の処理をしている。 <p>2 本時の中心課題を確認する。</p>	<p>○前時までに、児童は警察の人の仕事について、各自図書資料やインターネットを活用して情報を集めている。ここでは自由に調べたことを報告させる。</p> <p>○出てきた意見は Y チャートにまとめる。</p> <p>○事故と事件の両方から地域の人を守るために様々な活動をしていることをおさえる。</p> <p>○出た意見を「安全を守るため」「安心して生活するため」「困っている人を助けるため」の3つのグループに分けて板書する。</p> <p>○地域の安全と学園の安全を比較して、めあてを出す。</p>	<p>学校図書館活用のポイント 事前に図書資料を使って、警察の仕事について調べておく。</p>
<p>学園の安心・安全を守るために自分たちにできることを考えよう。</p>		
<p>3 学校の安心・安全が守られていない場所や場面を考える。</p> <p>【安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段を歩いていたら走っている人とぶつかって落ちそうになったことがあるよ。 ・階段を上がって教室に行くまでのカーブでよく人とぶつかるな。 <p>【安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のように落とし物があるよ。 	<p>○児童の経験をもとに考えさせる。</p> <p>○場所だけでなく、どのような危険があるのかまで考えさせたい。</p> <p>○「走る」など、どうしてその行動をしているのかの背景にも気付かせたい。</p> <p>○警察の仕事と同じように Y チャートに3つの観点でまとめていく。</p> <p>◆自分の意見を考える時間を確保し、その後ペアで交流をしたのちに全体</p>	

<p>【助ける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下の学年の子が靴箱のところで泣いているのを見たことがあるよ。 ・1年生が部屋が分からなくて迷っていたよ。 <p>4 1日警察として、学園の安心・安全を守るために自分たちにできることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走っている人が多いから、校内は歩くようにとポスターや学園放送で呼びかけたらいいと思う。 ・階段で危険なことが多いから、階段を上がった所に交番を作って、パトロールしたらいいと思う。 ・泣いていたり怪我をしたりして困っている人がいたら話を聞いたり保健室に連れて行ってあげたりしたらいいと思う。 ・登下校の時に何列にもなって歩いて危ないから道路の歩き方を教えてあげるといいと思う。 <p>5 学習を振り返るとともに、次の学習の見通しをもつ。</p>	<p>交流をすることで、自分の意見に自信をもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全が守られていないところで出た意見と繋げて考えさせる。 ○「走らないように呼びかける」や「パトロールをする」等の意見が出た際は、さらに具体的に方法を問うことで、考えを広げられるようにする。 ○ここでは「学園の安全を守るため」という思いをしっかりとませ、自由な発想を引き出すようにしたい。 ○意見が出なかったら、警察の仕事は何のためか考えさせ、「安全を守るため」「安心して生活するため」「困っている人を助けるため」の3つの視点で同様なことができないか考えさせる。 ○時間がある時は、1つの方法について具体的な方法を考えていく。 ○今日出た意見をもとに、実行できそうなものを考え、準備していくことを伝える。 	<p>「警察の仕事をもとに、自分たちが学園の人たちの安心・安全を守るためにできることを考えているか」を評価する。（発言・ノート）</p>
---	--	--

(4) 板書計画

10/13 (金) 安全なくらしを守る人びとの仕事

めあて 学園の安心・安全を守るために自分たちにできることを考えよう

安心

- ・人の物をぬすむ人がいる。
- ・交通事故が起きる。
- ・一人ぐらして困っているお年よりがいる。
- ・お年よりをたずねる。
- ・こう習会を開く。

安全

- ・パトロールをする。
- ・事のたいおう。
- ・道がわからなくてこまる。
- ・はんさいをおかす人がいる。
- ・毎日のように落とし物がある。
- ・休けい時間に走る人が多い。

助ける

- ・悪いことをした人をたいほする。
- ・道あん内をする。
- ・教室をパトロール。
- ・交通安全教室を開く。
- ・お客さんに校舎案内する。
- ・下の学年の困っていることを手伝う。

かいだんでぶつかったことがある。

1年生がくつばこで泣いていた。